

整備工場内潤滑油タンク 残量監視システム

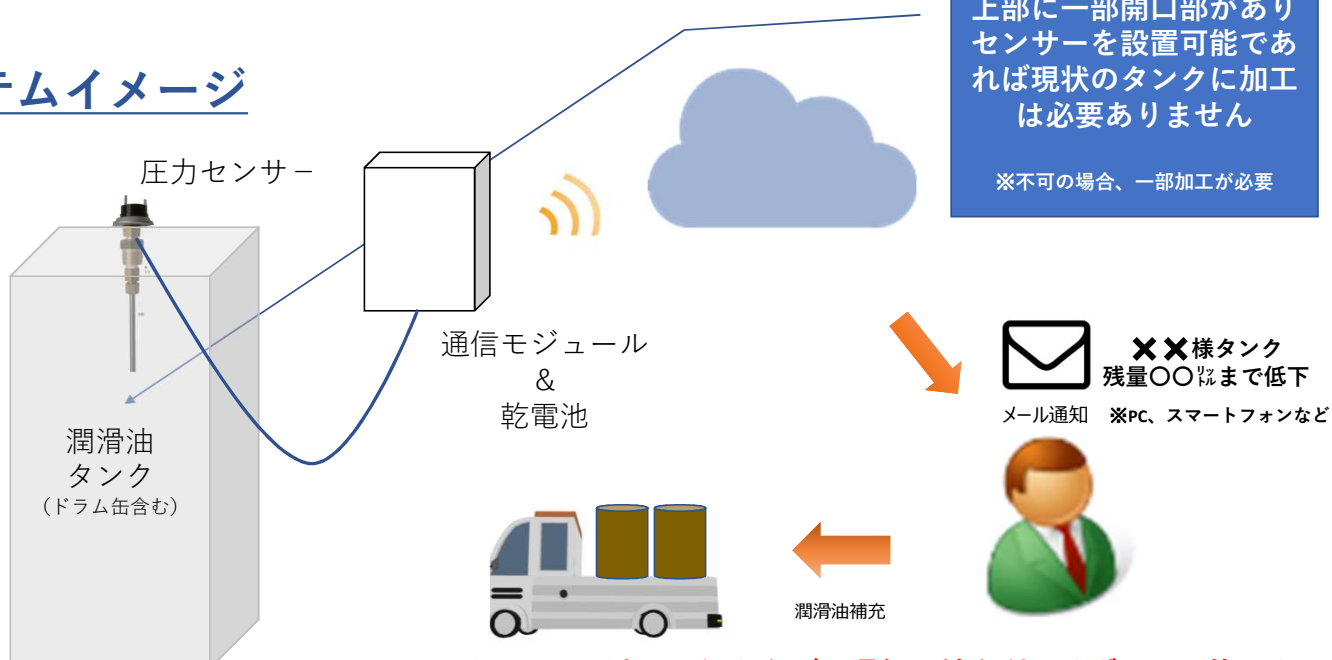
現 状

- ・ 整備工場で潤滑油の残量が低下したら電話で注文。→都度配送
- ・ 受動的な配送により煩雑で非効率。
- ・ 配送人員の確保が困難。（運転免許の他、危険物取扱など）
- ・ 確認ミス（不足）により潤滑油枯渇の可能性。

改善点

- ・ 能動的な配送によるコスト削減
- ・ タンクごとの使用頻度データを蓄積することで、
配送担当者の経験に頼らず、効率的な配送ルートを策定。
- ・ 配送に関する人件費（求人費含め）削減。
- ・ 残量情報を一元的に把握することで、在庫調整ならびに
ベースオイル価格の変動に合わせた購買が可能。
- ・ 配送漏れによる潤滑油枯渇の可能性が低減。

システムイメージ



※タンク設置先の電源ならびに通信回線を利用せず設置可能です。

タンクに設置した圧力センサーにより、軽微な残量変化にも対応でき、
予め設定した閾値（下限残量）を下回った際に指定されたメールアドレス
（ご担当者様ほか）にメールでお知らせいたします。